

第2学年梅組算数科「形をつくろう」指導略案

指導者：小野 哲(T o)・小松浩一(T k)

1. 日 時 平成17年1月18日(火) 9:15~10:05
2. 本時のねらい 色板を使って、いろいろな形を構成することができる。(2/6)
3. 本時の実際

時間	主な学習活動と児童の反応	T o の 支 援	T k の 支 援	センターの先生の支援
9:15	1. 本時のめあてを確認する。 色板をつかっていろいろな形を作る	<ul style="list-style-type: none"> ・色板を使った，自作の形を紹介する。 ・色板を移動操作したときの形の違いを演示で紹介する。 ・色板を重ねたり，離したりしないことを確認する。 		(教室後ろ側から授業を見る) ・本時の学習への意欲が高まるような言葉をかける。
9:20	2. 色板を使って，形を構成する。 ・魚を作りたいな。 ・飛行機を作りたいな。	<ul style="list-style-type: none"> ・十分な数の直角二等辺三角形の色板を用意する。 ・形の組み合わせ方の工夫や，発想のおもしろさを見取り，賞賛する。 ・活動が停滞している子どもには，教科書の例を紹介したり，一緒に作り方を考えたりする。 		
9:45	3. 作った形を紹介し合う。 ・作った形を友達に見てもらおう。 ・工夫をみんなに紹介したいな。	<ul style="list-style-type: none"> ・工夫が見られた子どもを意図的に指名する。 ・子どもの発表を受けて，工夫や気づきを分かりやすく補足する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・書画カメラを操作するとともに，発表の補助をする。 	
9:55	4. 学習をふり返る。 ・形をつくるのがおもしろかった。 ・もっとやってみたいな。	<ul style="list-style-type: none"> ・ふり返りの視点を示したカードを用意する。 		
10:00	5. 教育センターの先生のお話を聞く。			<ul style="list-style-type: none"> ・本時の学習を意味付けるとともに，次時への意欲が高まるような言葉をかける。

第2学年梅組算数科「形をつくろう」指導略案

指導者：小野 哲(T o)・小松浩一(T k)

1. 日 時 平成17年1月24日(月) 9:15~10:05
2. 本時のねらい ひごを使って、いろいろな形を構成することができる。(4/6)
3. 本時の実際

時間	主な学習活動と児童の反応	T o の 支 援	T k の 支 援	センターの先生の支援
9:15	1. 本時のめあてを確認する。 ひごをつかっているいろいろな形をつくろう	<ul style="list-style-type: none"> ・ひごを使った自作の作品を紹介する。 ・作りたいものを決めてから構成することと、ひごが重なったり、離れたり、ずれたりしないことを確認する。 		(教室後ろ側から授業を見る) ・本時の学習への意欲が高まるような言葉をかける。
9:20	2. ひごを使って、形を構成する。 <ul style="list-style-type: none"> ・船を作りたいな。 ・鳥を作りたいな。 	<ul style="list-style-type: none"> ・単なるひご並べではなく、形を構成するためには閉じた形でなければならぬこと(ひごの端が必ず他のひごとくっついていること)を個別に指導する。 ・発想のよさを賞賛する。 ・活動が停滞している子どもには、教科書の例を紹介したり、一緒に作り方を考えたりする。 		
9:45	3. 作った形を紹介し合う。 <ul style="list-style-type: none"> ・作った形を友達に見てもらおう。 ・工夫をみんなに紹介したいな。 	<ul style="list-style-type: none"> ・お互いに作品を見合えるように、作品を机の上に置き、自由に見て回ってよいことを伝える。 ・子どもの発表を受けて、工夫や気づきを分かりやすく補足する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・書画カメラを操作するとともに、発表の補助をする。 	
9:55	4. 学習をふり返る。 <ul style="list-style-type: none"> ・形をつくるのがおもしろかった。 ・もっとやってみりたいな。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ふり返りの視点を示したカードを用意する。 		
10:00	5. 教育センターの先生のお話を聞く。			<ul style="list-style-type: none"> ・本時の学習を意味付けるとともに、次時への意欲が高まるような言葉をかける。